

「とうほう・只見線利活用推進私募債」の取扱開始について

東邦銀行（頭取：佐藤 稔）は、2016年6月1日より「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債(注)」等の寄付型私募債の取扱いを開始し、2024年3月末現在の受託実績は332件／361億円となっております。寄付型私募債を通し、地域の学校、自治体等を中心とした公共施設やNPO法人向けの寄贈を行ってまいりました。

このたび、寄贈先（テーマ）を限定した「とうほう・テーマ型私募債」の枠組みを創設し、第一弾として「とうほう・只見線利活用推進私募債」の取扱いを開始しましたので、お知らせいたします。寄贈先（テーマ）は定期的に更新し、福島県特有の課題解決に資する事業、団体をより一層支援してまいります。

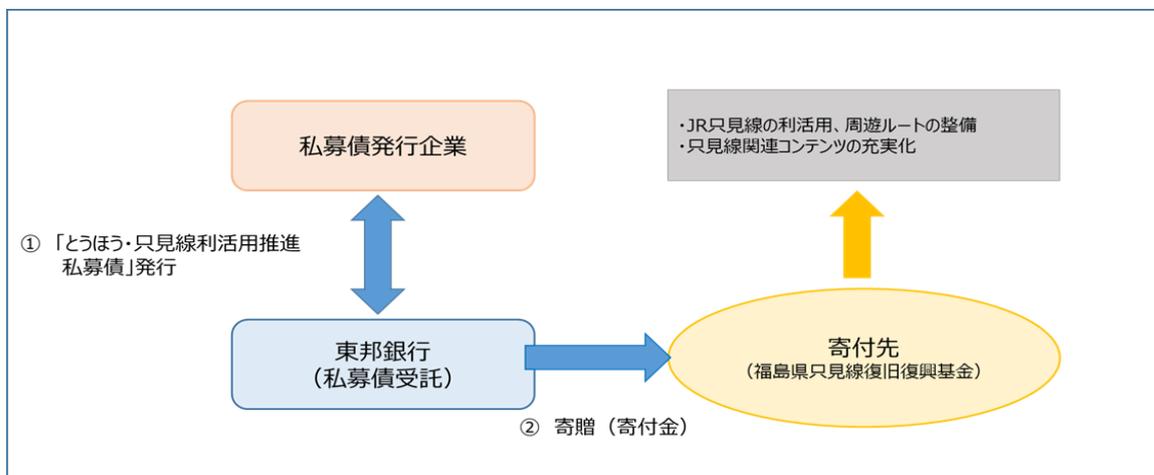
当行は、引き続き企業活動を通じて社会課題の解決を図るお客さまとともに、地域活性化・地方創生に貢献できるよう積極的に取り組んでまいります。

(注)「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」は、一定の財務基準を満たし、かつ私募債の発行を通じて地域の活性化を支援する主旨にご賛同いただいた法人のお客さまを対象とした私募債です。当行がお客さまからいただく手数料の一部で地域の学校や施設等への寄贈を行っております。

記

1. 「とうほう・只見線利活用推進私募債」の商品概要

名称	「とうほう・只見線利活用推進私募債」
対象	当行の私募債適債基準を満たし、私募債の発行を通じて、只見線の価値を地方創生に活かす取組みにご賛同いただける法人のお客さま。
寄付先	福島県只見線復旧復興基金
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「とうほう・只見線利活用推進私募債」の発行時に私募債発行企業から受け取る発行手数料の一部を寄付金として寄贈します。 寄付金は只見線関連コンテンツの充実化に活用されます。
取扱期間	2024年4月1日～2024年9月30日



2. 只見線の概況

- (1) 福島県の会津若松駅と新潟県の小出駅を結ぶ全長 135.2km の鉄道路線である只見線は、2011 年 7 月の新潟県・福島豪雨で甚大な被害を受け、一部区間が長期にわたり不通となりました。
- (2) しかし、福島県と会津地域が一丸となって様々な課題を克服し、国と東日本旅客鉄道の協力を得ながら 2022 年 10 月に 11 年ぶりの全線開通を果たしております。
- (3) 只見線沿線地域は、人口減少と高齢化の進行による消費の減少等、地域活力の低下が懸念されており、地域の存続を左右する重要な転換期にあります。只見線は地域の暮らしや文化に欠かせない存在であるとともに、沿線地域への経済的効果と価値をもたらすことが期待されております。

3. 只見線利活用計画及び寄付金の使途

目指すべき姿	只見線が地域の暮らしや文化、産業を支え輝かせる日本一の「地方創生路線」
基本方針	只見線の「価値」を地方創生に活かす・つなげる <5つの価値> ①生活を支える交通ネットワークとしての価値 ②交流人口を呼び込む観光資源としての価値 ③地域の象徴、誇らしさ、拠り所としての価値 ④関係人口を生む地域資源としての価値 ⑤交通以外で日々の暮らしに役立つ価値
寄付金の使途	基本方針に則ったプロジェクトを遂行するために活用 【例】 ・只見線を活用した体験型ツアーの実施 ・周遊ルートの整備 ・只見線関連コンテンツの充実化 等

以上



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。